

たんぽぽだより



2019年 12月号

たんぽぽマルシェには、たくさんの方にご参加頂きありがとうございました。
笑顔溢れるイベントとなり心も体も癒され楽しかったですね。

たんぽぽに在園している期間の子ども達は、建物で言えば、一番大事な基礎の部分の時期です。この時期に子どもの気持ちを根気強く聞いたり、話すことによって、どうすればいいかという方法が身についてくると考えます。それが自主性につながっていくのです。

脳科学的に言うと、強く叱ることは逆効果であるという事です。

こどものわがままを、強制的に「できないでしょ!」とストップさせる事よりも、子どもが納得するまで、「これはどう?」とか「こうしてはどう?」と提案する話をしていく事によって、**気持ちを切り替える方法が自然に身につく**という事です。

たんぽぽの保育目標でもある、「自分で考え、自分で行動できる人」になるためには、そういう経験をたくさんすることによって、うまくいかないときにどうすればいいかという事を、**自分で考える癖が身につく**ようになります。

日本の若い人たちは、未来に対してマイナスのイメージを持っていて、自己肯定感が低い子が多いので、私たち大人が明るい未来を子ども達に想像させるような言動、ここを見せていく必要がありますね。

インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症に関する対応について

たんぽぽでは予防接種の推奨はしていません。それは接種する事のリスクとメリットを考えた時、子どもにとって、必要とは考えないからです。**水分補給と愛情補給**に気をつければインフルエンザは、怖い病気ではありません。しかし、病気になれば、きつい事には変わりありませんので、自宅でゆっくり休む事をお勧めします。

* インフルエンザ、下痢や嘔吐が出た場合全世帯へ発生の状況をご連絡します。その際は注意深くお子様の様子をご観察ください。園にてもし症状が出た場合は、すぐに連絡しますので病院の受診をお願いします。

* 症状が出ている場合は、感染の広がりを阻止するためにも、お休みをお願いします。また、嘔吐・下痢の出ている期間中は、前日に嘔吐・下痢があった場合は、登園を控えてください。インフルエンザの場合は約1週間の経過で軽快します。(感染症ガイドラインより)

* 嘔吐・下痢は症状が治まっても2週間くらいは便や尿に菌が出ますのでご家庭でも十分注意してください又、嘔吐・下痢した際の衣類は、感染拡大の防止のため洗わずにそのままお返しします。

11月の苦情・ご提案について

特にありませんでしたが、園でのケガがあり、通院されました。
申し訳ありませんでした。

保育サロン
たんぽぽ

今月の目標：元気な体づくり

ねらい：病気にならないからだづくり 季節の行事をたのしむ

つぼみ組【0歳児】 戸外遊びや散歩を意欲的に楽しみ、元気な体を作る。

見守られている安心感の中で、好きな遊びを十分に楽しみ、活発に探索活動をする。

もも組【1歳児】：寒さに負けず、健康に過ごす。友達や保育者と言葉を交わす楽しさを味わう。

ゆり組【2歳児】：健康管理に留意しながら戸外に出て、季節の変化を感じ取る。季節の行事を通して楽しさを味わう。

12月の保育内容

養護

つぼみ組：暖かい時間帯に外気に触れ健康に過ごす。保育者に見守られながら安心して一定の時間ぐっすりと眠る。一人一人のリズムに合わせ、仕切り等で部屋の環境を整えてもらうことで一人遊びを十分楽しむ。保育者と一緒に、人や動物などの模倣をして楽しむ。お正月等を通して親戚の人達と触れ合い愛されている喜びを感じる。

もも組：インフルエンザ、感染性胃腸炎など流行性疾患が流行る時期の為、健康観察を丁寧に行い早目の対応を心掛ける。意欲的に身の回りの事をしようとしたり、主体的に遊んだりする姿を十分に認め、共感し援助していく。

ゆり組：体調の変化に気付き対応し、健康に過ごせるようにする。保育者や友だちと関わりながら、好きな遊びを楽しむ。

教育

つぼみ組：(1歳以上児) 散歩では坂を登ったり下ったりを歩いて楽しむ。ズボンや帽子、靴などの簡単な着脱に喜んで取り組む。手づかみやスプーンを使って自分で食べようとする。いろいろな味の物を楽しく食べる。友だちと同じ事をしたいという思いを持ち、伸び伸びと活動する。 喃語や片言を受け止め丁寧に応答してもらいながらやりとりを楽しむ。自分の思いを言葉で表現しようとする。椅子に座って話を聞く。

(1歳未満児) 這い這いなどで探索活動をする。衣服の着脱を保育者に手伝ってもらい、清潔になった気持ち良さを味わう。 形のある食材など、よく咀嚼をしながら食べる。安心してミルクを飲む。 保育者と共に過ごす喜びを感じる。生活の中で使う、あいさつを真似して様々な方法で自分の気持ちを相手に伝えようとする。

もも組：鼻が出ていることが多い為、一緒に鏡を見ながら拭き、鼻をかむ事にも興味を持てるよう、かみかたの見本を見せていく。子どもの質問や言葉には「これは、〇〇よお散歩の時に見たね。」「大きい犬がいたね。怖かった？」など言葉を加えて丁寧に応えるようにする。クリスマス之歌を歌ったり、楽器を鳴らしたりして友達、保育者と楽しむ。

ゆり組：給食のおいしさをみんなで共有しながら楽しい雰囲気の中で食事をする。友達同士で体を動かす楽しさを味わう。遊びの中で友達との会話をやり取りをしながら楽しむ。一人一人の声に耳を傾けられるように一対一の時間の機会を持つ。クリスマスやお正月等の季節の行事を楽しむ。季節の歌や製作を通して行事の雰囲気を感じられるようになる。